

# 兵庫県盲ろう者生活実態調査報告書

兵庫県立聴覚障害者情報センター

平成24年3月

# はじめに

兵庫県立聴覚障害者情報センター  
所長 嘉田 眞典

ここに盲ろう者の生活実態調査報告書を発刊することができました。

平成 21 年度から 3 ヶ年の事業として、盲ろう者の実態調査を情報センターで実施することになり、当センターでは、特定非営利活動法人 兵庫盲ろう者友の会の多大なご協力を得ながら、調査作業を継続してきました結果、ようやくここにまとめることができました。

かつて兵庫県においては、ろう者や難聴者に比べ、盲ろう者の存在はあまり知られておらず、阪神・淡路大震災下でも盲ろう者については取り上げられる機会もほとんどなく、支援方法が確立されていませんでした。

それでも当時の聴覚障害者救援対策兵庫本部へ、一人の盲ろう者が同行人と一緒に来られ盲ろう者支援を訴えられました。その後、盲ろう者や関係者の呼びかけにより当事者団体である「兵庫盲ろう者友の会」が結成され、県内の盲ろう者の存在が徐々に明らかになってきました。

そして少しずつですが、盲ろう者の外出が増え社会参加し始めたことや、当事者中心の活動の広がりが、県の「盲ろう者向け通訳・介助員養成事業」「盲ろう者向け通訳・介助員派遣事業」の施策につながっていきました。

当センターにおいては平成 17 年度より「盲ろう者向け通訳・介助員養成事業」「盲ろう者向け通訳・介助員派遣事業」をはじめ「盲ろう者生活訓練事業」「盲ろう者相談事業」を実施しています。

しかし現実には、事業を利用している盲ろう者はまだまだ少なく、施策の存在さえも知らず、大半は自宅や施設において、情報やコミュニケーション、人との関わりもない状態で過ごしておられるのではないのでしょうか。このように地域で孤立してしまっていることが大きな問題であり、早急に盲ろう者施策の見直しが必要であります。そのために盲ろう者の生活実態を明らかにし、必要な施策を講じていくことが本事業の大きな目的です。

この報告書を発刊するにあたり、各方面からのご支援・ご協力をいただきまして厚くお礼申し上げますとともに、この報告書によって、盲ろう者が抱える諸問題の存在について多くの皆さまに認識を持っていただき、自立や社会参加支援の取り組みへとつなげていただければ幸いです。

## 目次

### 第1部 調査の概要

1 調査の目的	1
2 調査の対象者	1
3 調査の時期	1
4 調査の方法	1
5 調査票の回収状況	1

### 第2部 調査結果

1 回答者の属性、対象者のプロフィール	2
2 コミュニケーション方法	10
3 外出	20
4 情報入手・相談	26
5 住まい	29
6 就学、就労、日中活動	31
7 通訳・介助員派遣	39
8 その他の生活上のニーズ	45

### 第3部 考察と展望

1 調査の概略と考察	49
2 今後の展望	52

### 第4部 資料編

兵庫県内の盲ろう者と通訳・介助員分布	55
--------------------	----

## あとがき

東京都盲ろう者支援センター  
センター長 前田 晃秀

日本にはおよそ2万人の盲ろう者がいると推計されています。しかし、その生活実態は、ほとんど把握されていません。社会福祉法人全国盲ろう者協会でも、盲ろう者を対象にした実態調査を数年に1度実施してはいますが、「すでに把握されていて連絡先がわかる盲ろう者」が主対象になっており、社会資源につながっていない多くの盲ろう者の実態については把握されていないままでした。

そういった状況のなかで、今回、兵庫県内の視覚と聴覚の障害が認定されている盲ろう者全てを対象に生活実態調査を行うことができたのは、非常に画期的なことと言えます。「通訳・介助員派遣事業などの有効な社会資源につながっていない盲ろう者が、数多くいること」「派遣事業を使っていない盲ろう者の外出頻度が極めて限られていること」「派遣事業を利用することで外出頻度が増えること」などの調査結果は、盲ろう者の社会参加を促進していくうえで示唆に富んだデータになるのではないかと思います。

さらに、本事業では、調査を実施する過程においても、以下のような副次的な効果を得ることができたと考えられます。

- 1) 兵庫県や各市町、兵庫県立聴覚障害者情報センター、兵庫盲ろう者友の会の連携のもと調査を計画・立案・実施し、お互いの関係が深まったこと
- 2) 調査を通じて、認知度の低い「盲ろう」という障害やその支援について、市町の障害福祉主管課や家族、そして視覚と聴覚の障害のある本人に理解を促すことができたこと
- 3) 調査対象者を把握することが、各市町の盲ろう者の存在を把握することにつながったこと

特に3)に関しては、資料にあるように、把握された市町の盲ろう者の数と派遣事業の登録盲ろう者数や登録通訳・介助員数を併せて考えることで、地域ごとの盲ろう者支援の充足度が把握できました。この結果は、相対的に支援が行き届いていない地域に対し、限られた財源や人的資源などを投入するなど、効率的、効果的、かつ展望を持った支援を進めていくための一助になると考えられます。

今回の調査結果が有効に活用され、関係機関の連携のもと、盲ろう者の支援の取り組みが進み、その結果、一人でも多くの盲ろう者が、生きがいを取り戻して生活できるようになることを願っています。

## 兵庫県盲ろう者生活実態調査報告書

- 発行日 2012年3月15日
- 発行所 兵庫県立聴覚障害者情報センター  
〒657-0832  
神戸市灘区岸地通1丁目1-1  
神戸市立灘区民ホール2F  
電話 078-805-4175  
ファックス 078-805-4192
- 編集協力 特定非営利活動法人 兵庫盲ろう者友の会  
〒650-0016  
神戸市中央区橘通4丁目2番10号  
加藤マンション神戸202  
電話・ファックス 078-341-8822
- 監修 東京都盲ろう者支援センター長 前田晃秀